

42 広島大学

Hiroshima University

フェニックスレーシング

Phoenix Racing

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/fsae/>

総合順位トップ10入りへの挑戦



今回の総合結果・部門賞

●総合37位 ●日本自動車工業会会長賞

Profile チーム紹介・今までの活動

広島大学学生フォーミュラ『Phoenix Racing』は、2008年10月より、車やバイク、そしてものづくりに興味のあるメンバーが集まって活動を開始しました。現在はFAの先生方3名を含め、総勢18名にて活動を行っております。第8回大会より参戦し、本年度参戦で5年連続での参加となりました。

Team-member チームメンバー

福永 浩希 (CP)

西田 恵哉 (FA)、濱崎 洋 (FA)、難波 慎一 (FA)
小島 祐人、渡辺 祥央、高谷 駿介、宮崎 亮輔、
玉城 史彬、林 明日香、増田 啓司、古株 拓弥、
松田 隆太郎、大濱 康治、松田 孝太、米岡 拓留、
竹本 直矢、富田 海、飛永健斗、古本 舞桜、
西垣 祐作、谷口 果菜、丸野 倫寛

Presentation

プレゼンテーション

私たち『Phoenix Racing』は、今年度マシン「PF-6R」のコンセプトとして「三本の矢～加速・旋回・制動～」を掲げ、加速・旋回・制動のすべての運動性能の向上を図りました。前年度取り組んだ車両の軽量化も引継ぎながら開発を行ない、総合成績10位以内を目標に活動を行ないました。シャシーパートにつきましては、三本の矢のうち、旋回・制動に着目し車両性能、ドライバビリティおよび制動性能の向上を図りました。スキッドパッドの目標タイムである5.3秒/周を達成するためにシミュレーションを行ない、タイヤ性能の限界を引き出せるよう設計を行ない、また、フレームの形状を変更し、剛性を保ちつつ、ドライバーの視界の確保と軽量・小型化を行ないました。更に、昨年度信頼性が疑われたアップライトとハブの締結法を見直し、軽量化を行なうと同時に信頼性も向上させました。

パワートレインパートにつきましては、三本の矢のうち加速性能に着目いたしました。吸排気系の最適化を行ない出力を向上させ、また、減速比の検討を行なうことでアクセラレーションの目標タイムである4.2秒をめざしました。加えてシフト操作のアシストの開発によりシフトチェンジ時のタイムロス減らしました。

Participation report

参戦レポート

今年度は総合順位トップ10入りをめざして大会に挑みました。今年度はシェイクダウンの時期が当初の計画から遅れてしまい、ドライバーの育成および車両のセッティングに十分な時間を割くことができませんでした。また、練習場所も大会本番の路面と大きな差があり、練習環境を充実させるという課題もみえてきました。

大会では、車検を受ける事ができたのが2日目の10時からで、一回で通過することはできませんでしたが、クイック車検でなんとか昼頃には技術車検を通す事ができました。しかし、その日のうちにすべての車検を通過することはできず、3日目の朝にすべての試験をパスすることになりました。

車検と並行して行われた静的審査につきましては、全体的に思ったような結果を出すことができず、多くの課題が残るものと思われました。

動的審査に関しまして、1年ぶりに完走を果たすことができましたが、アクセラレーション・スキッドパッド共に目標のタイムに少し及ばず、エンデュランスも練習不足が影響し、とても残念な結果に終わってしまいました。

目標としておりましたトップ10入りを果たせず、残念な思いでいっぱいでしたが、今年度 大会で浮き彫りになった課題や反省を踏まえて来年度のプロジェクトに取り組みたいと思っております。終わりになりますが、弊社チームにご支援・ご協力していただきました大学、スポンサー、OBの皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、ソリッドワークス、奥平パイプ興業、エフ・シー・シー、レーシングサービスワタナベ、日信工業、THK、協和工業、NTN、江沼チエン製作所、石原ラジエーター工業所、アルテクノ、ウエストレーシングカーズ、シーシーアイ、呉工業、キノクニエンタープライズ、UACJ、クールナッツ、二上工作所、津田製作所、ニッポンレンタカー西条駅前営業所、ファーストモールドینگ、テックサーフ、丸三自動車商会、アンダーレ、アール・イー・シー、VI-grade、スクーテック株式会社、Altair

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/42.html>